

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		3位決定戦																
日時	平成30年3月25日(日)	13:30 ~																
会場	白石区体育館Bコート																	
結果	旭川 2年生	<table border="0"> <tr><td>16</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>8</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	16	—	10	16	—	17	12	—	12	8	—	14		OT		北空知 2年生
	16	—	10															
16	—	17																
12	—	12																
8	—	14																
	OT																	
審判	主審 久朗津 義晃		副審 宮地 北斗・後藤 寛知															

第36回北海道ジュニアオールスターバスケットボール大会



【ボックススコア】

旭川		2年生						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	萩生田 侑杜	×	3	1				2
5	中江 楓	/	0				1	3
6	松山 真之助	/	6		3		2	1
7	白田 翔悟	×	12	2	3			
8	後藤 拓翔	/	5		1	3	1	
9	石崎 大河	/	0					1
10	後藤 大輔	×	6		2	2	4	4
11	工藤 綾真	×	0				1	1
12	木下 涼音	DNP	0					
13	ギリ オビナヤ	/	0					
14	鍛冶 晴	×	10		3	4		2
15	石川 綾信	/	2		1			2
16	登坂 唯斗	DNP	0					
17	長谷川 和輝	/	6		3		7	4
18	下村 彪翔	/	2			2		1
HC	竹原 陽平							
合計			52	3	16	11	16	21

北空知		2年生						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	小笠原 紫礼	×	5		1	3	8	1
5	野崎 海斗	×	8	1	2	1	1	3
6	丸山 雄大	/	9		2	5		4
7	太田 裕也	/	0					1
8	笹木 健人	/	0					
9	志筑 蓮	×	4		2		3	4
10	浦田 彪我	/	7		3	1	5	1
11	松本 太陽	DNP	0					
12	西迫 伯瑛	/	6		1	4		2
13	西川 啓太郎	/	0					1
14	川中 琉傑	/	2		1			1
15	吉田 翔樹	DNP	0					1
16	高橋 優一郎	×	4	1		1		
17	佐藤 翔永	/	5	1	1			
18	高井 秋野	/	3	1				1
HC	吉井 智基							
合計			53	4	13	15	17	20

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【選評】

札幌選抜に敗れた北空知選抜と、帯広選抜に敗れた旭川選抜の意地をかけた3位決定戦。
 1Q、お互いにハーフマンツーマンディフェンスでスタート。北空知は、#5#18が1本ずつ、旭川は#7が2本、#4が1本3Pを決める。残り1分20秒で14-8で旭川がリードとなった時点で北空知はタイムアウト。流れを変えようと試みるが、1Qは16-10旭川で終了する。
 2Q、互いに決定力に欠け、攻めあぐね、点の入らない状態が続く。リズムに乗れず無理なプレーが増え、オフェンスチャージングも多く、残り4分30秒の時点で両チーム共にファールが5回を超える。そんな中旭川#17のリバウンドシュートなどで得点を取るが、ミスが目立ち始め、北空知は#12のゴール下シュートや、フリースローで得点を重ね、3分過ぎに逆転する。しかし、旭川のプレッシャーディフェンスにより残り1分を切ったところで連続して北空知がミスをし、32-27旭川リードで前半を終える。
 3Q、旭川は#14のスピードあるドライブからのレイアップやアシストパスにより、得点を重ねる。対する北空知も#5や#16を中心にオフェンスを組み立てる。互いに譲らず前半と同じ5点差の旭川リードで3Qが終了する。
 4Q、突き放したい旭川は、#6のリバウンドタップシュートなどで流れに乗ったかに思えたが、北空知も#4の粘り強いルーズボールで流れを呼び込む。残り3分、旭川は#10のゴール下シュート、北空知は#5や#6のフリースローなどで得点を重ね、残り1分で1点差の好ゲームとなる。残り50秒、#6がバスケットカウントのミドルシュートを決め、ついに2点リードと逆転する。続いて残り7秒で北空知#4がフリースローを1本決める。旭川は残り7秒で3点を取るためにタイムアウト。サイドスローインで3Pが外れ、リバウンドシュートで2点を取るものの及ばず、北空知が1点差の接戦をものにした。